

令和5年度上伊那圏域地域自立支援協議会議事録

会議	部会名	第3回 相談支援専門員連絡会	日 時	令和 5年 10月 27日(金) 10:00 ~ 12:00
	会場	伊那市福祉まちづくりセンター 第1、第2研修室	参加者数	23人
主 テ ー マ	<p>1 地域生活支援拠点等整備ワーキンググループより</p> <p>2 グループワーク 障害児支援計画を見比べてみよう～他の人はどうしているの?～</p> <p>3 その他</p>			
	<p>1 地域生活支援拠点等整備ワーキンググループ(拠点WG)より</p> <p>(1) 子どもに関するサービスの取りまとめについて</p> <ul style="list-style-type: none"> ・拠点WGで作成した「子どもサービス集約表(仮)」を共有した。 ・集約表作成の目的は、障がい児のショートステイが不足する中、障がい以外の分野でも利用できる制度を確認しようというもので、利用に際しては市町村との相談が必要だが、支援の参考にして欲しい、との報告があった。 <p>(2) 障がい児のショートステイに関するニーズについて</p> <ul style="list-style-type: none"> ・グループワークを行い、日々の支援で感じているショートステイのニーズについて意見交換した。 <p><意見の一部を抜粋></p> <ul style="list-style-type: none"> ・ショートステイを利用する際は圏域外を利用している。 ・土、日預かってもらいたいがショートステイ先が無かった。 <p>2 グループワーク 障害児支援計画を見比べてみよう～他の人はどうしているの?～</p> <ul style="list-style-type: none"> ・各自持ち寄った障害児支援計画を基に、日頃の悩みや困っていること、他の人に聞いてみたいことについて意見交換を行った。 <p><意見の一部を抜粋></p> <ul style="list-style-type: none"> ・外国籍の親御さんと通訳を入れてコミュニケーションを取るようになったことで、親御さんの意見が聞けるようになった。 ・会議で同意を得られても、本人の希望でないことがある。本人が参加できるときに発信をしてもらう機会も必要ではないかと思う。 ・本人が成長している姿を支援者間で共有していくことで、次の支援に繋げている。 ・行政との役割分担が難しい。児童相談所の役割がよくわからない。 <p>3 その他</p> <p>(1) お知らせ</p> <ul style="list-style-type: none"> ・療育コーディネーターについて きりあには療育コーディネーターが在籍しており、相談、巡回訪問、研修会開催等の活動をしている。保護者や関係機関で子どもの対応で困っているときにはぜひ活用して欲しい。 ・Toiro(トイロ)について Toiroは「個性に合わせた多様な子育て」を応援するために信州大学の本田先生が中心となり開発されたアプリ。保護者との共通認識を持つためのツールとして活用して欲しい。 <p>(2) 出席者よりご意見</p> <ul style="list-style-type: none"> ・医療的ケア児コーディネーターの設置について、上伊那でも積極的に進めて欲しい。 (ご意見については、市町村と共有予定) 			
ま と め	<p>今回は、児童の相談支援事業所および児童の計画に興味のある事業所に対象を絞って開催した。同じ悩みを共有できたことへの安心感等肯定的な感想が聞かれており、来年度の開催に繋げたい。</p> <p>拠点WGの障がい児ショートステイ不足に関する動きを共有できた。今後も確認の機会を設けていきたい。</p>			
次回	<p>令和5年12月25日(月) 13時30分～15時30分</p> <p>宮田村村民会館 第3、第4研修室</p>			